

● おもてなしガーデン ●
 ジャパンフラワーセレクション
 ×
 日本ハンギングバスケット協会
 夏花見学会 参考資料

日本の夏に安心な フィールドトライアル済み。



千葉大学環境健康フィールド科学センター
 JFSガーデニング部門審査圃場（露地花壇）の様子



ジャパンフラワーセレクション 2011～2016年度 夏秋審査会・秋審査会 ガーデニング部門 特別賞受賞品種のご紹介

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション(JFS)とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)や、ベスト・フラワー(優秀賞)、各種特別賞を選定し年間の表彰を行っています。

フラワー・オブ・ザ・イヤー <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューバリュー 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ブリーディング 特別賞	モニター 特別賞



JAPAN
 FLOWER
 SELECTIONS

いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

お問い合わせは

ジャパンフラワーセレクション実行協議会 まで
 東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
 一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743

メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション (JFS)では、
千葉大学柏の葉キャンパスにて「ガーデニング部門」の試験栽培を行い審査しています。
この「おもてなしガーデン」は、試験圃場にて「推奨品種」として認められた入賞品種を中心に、
日本ハンギングバスケット協会 (JHBS)にご協力をいただき、
実際のガーデンデザインの中に生かした姿をご覧ください。

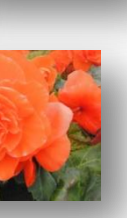
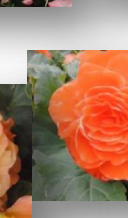
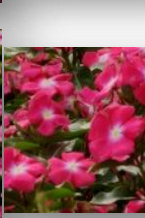
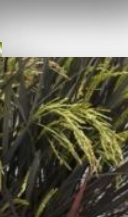
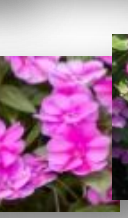
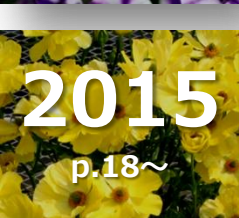
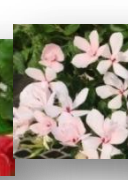
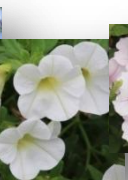
CONTENTS

この冊子は、2011年～2016年夏～秋の特に優れた品種「JFS 特別賞受賞品種」を
試験圃場での様子のわかる写真を添えてご紹介しています。

「ガーデニング部門」フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞) 2011～2016のご紹介 p.4～



「ガーデニング部門」夏秋審査会・秋審査会 特別賞受賞品種 2011～2016のご紹介 p.9～



掲載されている品種は、予告なく販売を終了する場合があります。ご了承ください。

「ジャパンフラワーセレクションの賞体系について p.39

おもてなしガーデンへ ようこそ



▲2017/6/8 定植時の様子

デザイン・植栽・管理協力



一般社団法人 日本ハンギングバスケット協会。

JFSガーデニング部門の審査とは

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学環境健康フィールド科学センター）にて2〜3週間ごとに栽培記録をつけ、生育経過を観察し行います。

露地花壇(1株植え区・群植区で観察)



雨よけ施設（横長コンテナ・8号鉢で観察）



栽培方法は？・・・ 植栽計画や維持管理は千葉大学環境健康フィールド科学センターの監修で行われています。

メンテナンスは一般家庭における管理方法を想定したメンテナンスを行います。

審査方法は？・・・ 栽培試験では定期的に写真撮影と計測による栽培記録シートを作成。栽培記録シートも参考にしながら、植栽場所で現地審査（採点評価・協議）を行います。

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）・特別賞の発表は

2017年度のフラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞の授賞式は、2018年1月9日(火) 東京大学弥生講堂にて行います。

例年、内閣総理大臣夫人もしくは農林水産大臣夫人を特別ゲストにお呼びして、その年の代表的な品種を表彰しています。



(写真は2016年の授賞式の様子：学士会館)

特別ゲストには受賞者からお花のプレゼントが渡され、記念撮影を行います。

歴代・JFS×JHBS おもてなしガーデン



ビスタミニブルースター



品 目 名 : ペチュニア
品 種 名 : スーパーチュニア®
 ビスタミニブルースター
受 賞 者 : 株式会社ハクサン（愛知県）
育 成 者 : Plant 21 LLC
育成者権者 : 株式会社J&Hジャパン
HP : www.hakusan1.co.jp

審査講評： 青色と白色の爽やかなバイカラーがくっきりと出る小輪タイプのペチュニア。このインパクトある複色は、栽培観察中のどの時期に見ても退色なく安定していた。
小輪の花が多くつき、にぎやか。ピンチをしてもしなくてもよく咲き、草姿もコンパクトで大きく乱れることが無い。分枝性、連続開花性があり、花色の安定感、花がらが目立たない手間のかからなさ、どれをとってもよく考えられた育種。安心して消費者におすすめることができるすばらしい品種。



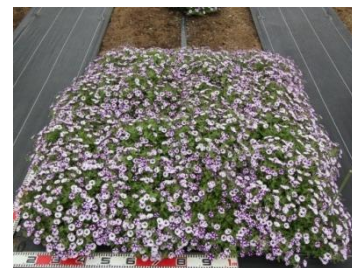
▲定植後22日の露地花壇・群落植栽の様子（6/15撮影）



▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子（6/27撮影）



▲定植後50日の露地花壇・群落植栽の様子（7/13撮影）
*7/6ピンチ



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）
*ピンチ後33日

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】スーパーチュニア ビスタシリーズは暑さや雨、病気に対する強さ、生育の旺盛さ、傷んだ場合の回復力において数ある栄養系ペチュニアの中でも群を抜く強さを持っています。第一弾品種ビスタピンクの発表から2017年で10年を向かえ、日本のみならず世界中で愛されています。

一方で住宅環境の変化に伴い、小さなスペースでも綺麗にまとまって咲く、しかも強く栽培が簡単な品種という需要も大きくなってきています。それがビスタ ミニシリーズ開発の背景です。

【開発のコンセプト】従来のビスタは生育旺盛で大鉢や植栽などに欠かせない植物ですが、ビスタ ミニでは小鉢でのパフォーマンスを上げるため、花をさらに密度の高く咲かせ続ける性質を持たせました。同時に比類なき強さをもったビスタの性質を継承しています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】新品種のために交配する何万という株の中で「ハッ」とする素晴らしい個体が稀に現れることがあります。世界5箇所で行われるPWの2年間選抜の過程でふるいにかけられ99%以上は落ちていきますが、その個体が選抜を乗り越えた時はまさに神様が与えてくださった品種だと感謝します。

【今後の展開】ビスタシリーズの色幅の拡充し、色とりどりのビスタをお選び頂けるよう育種を続けています。

ガーデニング部門 夏秋審査会
 フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2014
 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 ベゴニア「ワッパー レッドブロンズリーフ」



品 目 名 : ベゴニア
 品 種 名 : ワッパー レッドブロンズリーフ
 受 賞 者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育 成 者 : Sabine Kratzenberg
 育成者権者: Benary
 HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>
 審査講評:
 従来のベゴニア センパーフローレンスと比べ、花の大きさは約3倍ほど、草丈も5倍程にもなる迫力ある品種。非常に強健で梅雨時期も、暑い時期にも花が途切れることなく咲き続けていた。
 大輪の赤い花とブロンズ色のつややかな葉のコントラストも美しく、近くで見ても遠くから見ても楽しめる。
 夏の露地花壇でも大きく生長するので、夏花壇や造園素材としても適している。
 想像以上のパフォーマンスを見せるので、一般の消費者の方にも満足感を得やすい、総合的に優秀な品種である。



▲定植後2日の露地花壇群落植栽の様子（5/30撮影）



▲定植後29日の露地花壇群落植栽の様子（6/26撮影）



▲定植後99日の露地花壇群落植栽の様子（9/4撮影）



▲定植後2日の露地花壇1株植えの様子（5/30撮影）



▲定植後44日の露地花壇1株植えの様子（7/11撮影）



▲定植後114日の露地花壇1株植えの様子（9/9撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯/開発のコンセプト】 耐暑性に優れ大きく生長しながらも開花が持続するベゴニアの育成を目標としました。

【今後の展開】 ワッパーは腰の高さまで大きく生長しながら、約7cmもの存在感がある大きな花を咲かせる非常に丈夫なベゴニアです。ベゴニアでありながらも直射日光下でも葉焼けすることなく生長し、花は初夏から霜が降りるまで長期間渡って楽しむことは出来ます。株が大きく生長する分、少ない本数でも広い面積をカバーすることができるためランドスケープ用途としては最適な品種です。2020年の夏のオリンピック商材としても活躍を期待しています。

ガーデニング部門 夏秋審査会
 フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2013
 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 ニチニチソウ「ミニナツ ストロベリー」



いい花の新基準。



品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : ミニナツ ストロベリー
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)
 育成者 : 大屋 寛高
 育成者権者 : 株式会社ミヨシ
 HP : <http://www.mbflora.co.jp/>
<http://www.simplybeautiful.jp/>

審査講評：

2cmほどの小輪の花がいっぱいに咲く新しいタイプ。ポット苗時にはコンパクトであったが、定植後の草勢は驚くほど旺盛で、花つきもよく、暑い夏にも花径が小さくなることも花数が減ることもなく連続開花した。特に夏場の高温期にかけて花つきは勢いを増した。また、生育期間中、草姿が乱れることもほとんどなかったが、伸びすぎたところを切り戻せば、簡単に美しい姿を長く楽しむことができた。この点は手入れのしにくい暑い時期に手間をかけずに長く楽しめることは、消費者へのアピールポイントになるだろう。これほど生育旺盛でこんもりと仕上がるニチニチソウはこれまでなく、葉色も良く、ニチニチソウの用途の幅を大きく広げ価値も高まるだろう。斜面や壁面等への利用などの新しい役割も予感できる。総合的に非常に優れておりフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）を受賞した。



▲定植後4日の露地花壇1株
 植えの様子（5/27撮影）



▲定植後40日の露地花壇1株
 植えの様子（7/2撮影）



▲定植後63日の露地花壇1株
 植えの様子（7/25撮影）



▲定植後98日の露地花壇1株
 植えの様子（8/29撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】耐暑性に優れ真夏でも開花するニチニチソウは花壇苗でも重要な品目の一つです。弊社では花壇用途はもとより、寄せ植え需要にも対応できるコンパクトな草姿で極小輪の花を株いっぱいに咲かせる品種を栄養系で育成することを目標としました。

【開発のコンセプト】「病気にかかりづらい」「2cm程度の極小輪の花で株張りが良い」「多花性で真夏でも旺盛に生育する」ことが開発コンセプトです。また、種子が着きにくい点、秋までその勢いが衰えにくい点も大きな特徴の一つです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】小輪系のニチニチソウは種子が着きにくく育成が困難なため思ったような育種ができない難しさがあります。一方、それを如何にして克服し、目標とする育種を達成するかという面白さもあります。

【今後の展開】ミニナツシリーズ以上に病気に強く、草勢が旺盛で見栄えのするグレードアップしたシリーズを開発中です。花色の多色化も図っており、今回の受賞がより一層小輪系ニチニチソウの市場を拡大される契機となればと期待しています。

ガーデニング部門 夏秋審査会
 フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2012
 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 アンゲロニア「セレニータシリーズ パープル」



品目名 : アンゲロニア
 品種名 : セレニータシリーズ パープル
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)

育成者 : Ellen F. Leue
 育成者権者 : Ball Horticultural Co.
 HP : <http://www.mbflora.co.jp>
 審査講評 :

今年（2012年）の夏場の猛暑のなか、株が乱れることがなく、コンパクトで綺麗な草姿を保ち続けながら次々に花を咲かせた抜群のパフォーマンスが高く評価された。更に花色も涼しげで、花ガラも目立たなく管理しやすい。栽培試験時に、摘芯を一部行い、比較栽培を行ったところ、摘芯をしてもしなくてもどちらでもきれいに咲き揃った。また、従来のアンゲロニアはハダニが付きやすいものもあったが、それも見られなかった。更に、一般的に栄養系のアンゲロニアは立ち枯れが多いが、それも見られなかった。また、種子系で普及性も高い。申し分のないパフォーマンスに加えて、初心者にも育てやすい点、高い商品性など、非の打ちどころのない品種であり、非常に高く評価され、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）を受賞した。



▲定植後6日の露地花壇群落植栽の様子（6/7撮影）

▲定植後34日の露地花壇群落植栽の様子（7/11撮影）

▲定植後6日の露地花壇1株植えの様子（6/7撮影）

▲定植後85日の露地花壇1株植えの様子（8/31撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】ボールグループでは、暑さに強く夏の花壇に適した植物の品目拡充を昨今の重要な課題として捉えています。アンゲロニアはすでに、欧米をはじめ日本の園芸家の間でも浸透し、夏場に使いやすい植物という観点から人気の高いアイテムです。これまでは栄養繁殖系が主流でしたが、数年前よりボールグループ育種の種子系品種セレニータシリーズの販売を開始しました。今回のセレニータ パープルは、よりコンパクトな草姿の種子系品種として注目を集めています。セレニータ パープルは花壇からコンテナへと、より身近にアンゲロニアを提供することによって、一層の認知獲得を目指しています。

【開発のコンセプト】この品種は、バランスの良い美しい草姿と自然で豊かな分枝をもっています。さらには夏の花壇で非常に重要なポイントである、はっきりした色調を備えた品種です。洗練された草姿と鮮やかな花色は存在感の強さをイメージさせ、シリーズ全体の一貫したコンセプトにつながっています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】セレニータ パープルは、コンパクトでありながら充実した株に仕上がるアンゲロニアです。それぞれを上手く両立させながら育種開発を行わなければならず、粘り強い仕事が要求されました。セレニータ パープルは春夏商材として開発された品種ですが、適応力が高く、暖地であれば霜が降り始める頃まで花壇でもコンテナでも楽しむことが可能です。

【今後の展開】今後の展開については、継続的改善・改良というボールグループの基本理念に基づき、顧客からの意見や要望に耳を傾け、求められているニーズを反映した育種製品の供給に努めたいと考えております。

ガーデニング部門 秋審査会
 フラワー・オブ・ザ・イヤー (最優秀賞) 2011
 株式会社 サカタのタネ
 球根ペゴニア「フォーチュン スカーレット」



いい花の新基準。



品 目 名 : 球根ペゴニア
 品 種 名 : フォーチュン スカーレット
 受 賞 者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育 成 者 : サカタシード ヨーロッパ
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評:

はっきりとした綺麗な赤色の花色で、花卉の重ねも上品である。花と葉とのコントラストもとても良い。さらに、今回行った栽培試験を露地花壇でも行ったところ、屋外の雨風をうけながらも傷みも少なく、遠目から見ても綺麗であった。このことから、いろんな場面での活用が期待できることが分かった。また、これまで球根ペゴニアは、春に植栽し夏の暑さですぐに枯れてしまうものであり、イメージも「長持ちしないもの」として定着していた。しかし、このフォーチュンシリーズは、秋から12月頃にかけて楽しむ新しい商品群として提案されていることも花き業界に与える影響が大きい。これは、これまで秋のガーデン素材はアイテム数が少ないうえ、はっきりとした花色の苗物が不足していたうえ、秋の主力商品が欠乏していたことで、パンジー、ビオラ等の冬春ものの苗の流通時期が年々早まってきており、秋の園芸需要がさらに縮小への傾向にあった。そんな中、同シリーズは、秋の園芸需要を牽引し、新たな需要を喚起することができる商品群として期待できる。特にこのスカーレットは、高級感がある花色と花型により、幅広く受け入れられる可能性の高い品種である。また、クリスマスシーズンの素材としても活用も期待したい。

以上のことから、品種そのものの素晴らしさだけでなく、高い将来性を持ち、今後の園芸需要そのものも喚起できる秀逸な品種として本年のフラワー・オブ・ザ・イヤー (最優秀賞) を受賞した。



▲定植後1日の露地花壇群落植栽の様子 (10/6撮影)



▲定植後14日の露地花壇群落植栽の様子 (10/19撮影)



▲定植後27日の露地花壇1株植えの様子 (11/1撮影)



■受賞者コメント (受賞時)

球根ペゴニア『フォーチュン』シリーズは、温暖地で秋と春に簡単に栽培できる新しいタイプの球根ペゴニアです。鮮やかな花色と、花径6~12 cmの中大輪の花弁が豪華な印象を与える草丈10~30 cmのわい性品種です。楽しみ方としては、花壇植えやコンテナ植えなどがあります。本来斜面に自生する植物のため、ハンギングにもおすすめです。今回、「日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2011(最優秀賞)」を受賞した『フォーチュン スカーレット』は、同シリーズのなかでも花径は大きく約12 cmにもなります。明るい赤色で、花弁は特に厚いことから、花もちにも大変優れる品種です。

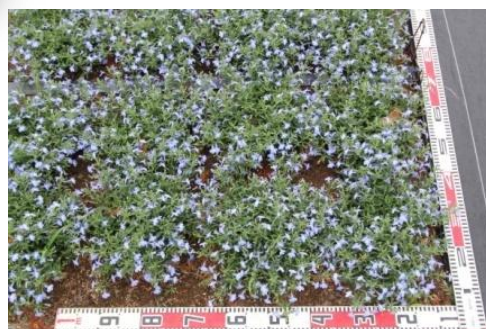
今回の「日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2011(最優秀賞)」の受賞を機に、同シリーズの拡販にますます力を入れてまいります。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニューバリュー特別賞 同時受賞]



品 目 名 : ロベリア
品 種 名 : 空色てふてふ 青空ブルー
受 賞 者 : 松原園芸(群馬県)
育 成 者 : 松原 紀嘉
HP :
<http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
審査講評 :

4月19日に植栽し、1か月後程から花数が増えたが、その後も連続開花し続け、株のバランスも美しく保っていた。耐暑性に優れ、暑い中でも咲き続けた。株に近づいて見ると若干咲き終わりの花ガラが気になるという意見もあったが、離れて見たところブルーの爽やかな色は十分に美しく観賞の価値があった。屋根付き施設内ではピンチした鉢は、9月末でもまだ花も株も美しさを保っていた。消費者にピンチの有効性と方法を伝えるとよりよく長く楽しめることだろう。強い耐環境性に加え、夏にはアメリカンブルー等にしかなかった花色がなによりも魅力的で、夏の素材として重要。ガーデニングの多様性や可能性を広げる品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を受賞した。



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子（4/25撮影）

▲定植後36日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

■受賞者コメント(受賞時)

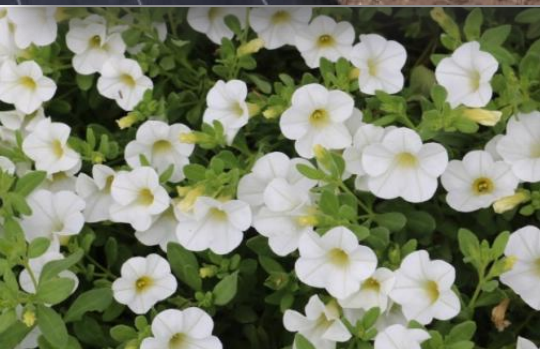
【開発の経緯】従来のロベリアは、綺麗であるが夏の暑さに弱く、楽しめる期間がとても短いと感じていた。そこで、耐暑性、耐環境性を備えたロベリアができるか、交配と選抜により試みた。

【開発のコンセプト】これまでにない耐暑性と耐環境性/分枝性と株張りの向上/多花性と連続開花性/1株でも大きく育ち、楽しめるパフォーマンス性

【発見・開発の面白さ、難しさ】交配から選抜まで、3年以上をかけて行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性が他品種よりも向上し、株張り性、開花性も向上させることができた。また、夏の暑さや雨でも生育し、環境に左右されない品種を作ることができた。

【今後の展開】同様に耐暑性と耐環境性を備えたロベリアで色幅を増やして、シリーズ化し、春から秋まで長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）



品 目 名 : カリブラコア
 品 種 名 : ティエルノ ホワイトver. 2
 受 賞 者 : 松原園芸(群馬県)
 育 成 者 : 松原 紀嘉
 HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
 審査講評 :

涼しげな白色のカリブラコア。

花の中心部の緑色が爽やか。

ドーム型にならずにほふくする草姿で、連続開花性がある。咲き進んでも花の大きさが小さくならなかった。また、生長しても株の中心部がドーナツ状に抜けることもなく、花ガラは埋もれていくので目立たないところも扱いやすい。ピンチをすれば、よりまとまりよく、安定的に長く楽しめる。

株の低さをあえて強調して、グランドカバープランツとしての用途を提案してもよいだろう。ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞。



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/9撮影)



▲定植後29日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後102日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/8撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】カリブラコアは、春から秋にかけて長く楽しめる植物で、花付きも類似植物のペチュニアに比べて良いが、耐病性、耐暑性が若干弱いと感じていた。

そこで耐病性、耐暑性、ならびに株張りに優れ、夏の暑さにも負けずに旺盛に成長するカリブラコアの開発を目指した。

【開発のコンセプト】耐病性、耐暑性、耐環境性の強化/旺盛な株張りとし生育力/連続開花性の向上/1株でも大きく育ち、楽しめるパフォーマンス性

【発見・開発の面白さ、難しさ】

交配から選抜まで、2年以上をかけて行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性が他品種よりも向上し、株張り性、開花性も向上させることができた。また、夏の暑さや雨でも生育し、環境に左右されない品種を作ることができた。

【今後の展開】

同様の強健なカリブラコアの色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



品 目 名 : ペチュニア
品 種 名 : 妖精のチュチュ フェアリーピンク
受 賞 者 : 松原園芸(群馬県)
育 成 者 : 松原 紀嘉
HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
審査講評 :

ふんわり優しく広がる草姿、桜貝のような白味のピンク色の花弁に赤い縁取りは、その品種名のかわいらしさとマッチしている。

生育は旺盛で、立ち上がる草姿はヒラヒラとかなりのボリュームが出るので、植栽間隔を広めにとることが重要。販売時にこのパフォーマンスが伝わるような工夫をすることで商品性がより高まるだろう。

高温期にも安定感のある育ち方は、個人使用だけでなく、公共植栽でも楽しめる。ベスト・フラワー(優秀賞)とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子(4/27撮影)



▲定植後29日の露地花壇・群落植栽の様子(5/25撮影)



▲定植後62日の露地花壇・群落植栽の様子(6/27撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】2014年2月に関東を襲った大雪で、松原園芸の温室が何棟も潰れてしまいました。そんな中、潰れた温室の中で生き延びる花たちを少しでも助け出したいと、わざわざ駆けつけてくださった横浜のお花屋さんアン ヴォヤージュドウ フルールさん。その後も、潰れた温室の植物を助けてくれたアン ヴォヤージュドウ フルールさんと意気投合し、花屋さんと生産者という新しいコンビで、新品種の開発をしようと動き出しました。そして、2016年に誕生したのが、新品種ペチュニア『妖精のチュチュ』です。

【開発のコンセプト】誰でも育てやすい品種を目指し、病気にも、暑さにも強い品種にしました。そして、ほんのり優しい気持ちになれるように、優しい色合いのペチュニアにしました。お花さんと生産者が初めて挑戦したペチュニアです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】横浜のお花屋さんアン ヴォヤージュドウ フルールさんと2年以上をかけて選抜を行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性も向上させることができた。

【今後の展開】色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）[グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : マンデビラ
 品種名 : サンパラスルジャイアント
 エンペラーズクリームゾン
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 里見 朝也
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>
 審査講評 :



濃くて格調高い赤色の花、花の大きさにもインパクトがある。高温になると赤色がかすれる品種や逆に花色が濃くなる品種もあるが、この品種の花色は安定しており、花数も多く改良されている。赤色の花と濃くつややかな葉色の対比も美しかった。

分枝性も改良されており、低い位置から開花するので、高く生長しても株元がさみしくならない点も評価された。

花色、花型、花数、全体のパフォーマンスが優秀な品種として、ベスト・フラワー(優秀賞)とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の屋根付き施設での様子(4/27撮影)



▲定植後62日の屋根付き施設での様子(6/27撮影)



▲定植後104日の露地花壇・群落植栽の様子(8/7撮影)



▲定植後141日の露地花壇・群落植栽の様子(9/14撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】サンパラスルと言えば赤、その赤色の優れた品種を狙い交配を実施。選抜した結果、大輪・濃赤品種を作出することに成功した。

【開発のコンセプト】花の赤色が鮮やかで濃く、フェードも少ない品種を開発する。生育旺盛で夏から秋まで良く咲く品種を開発する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】サンパラスルは交配が難しく、栽培に時間もかかるので、いかに良い交配組み合わせを設計するかが重要であり、その検討が面白さでもあり難しさでもある。

【今後の展開】赤色の改良については今後も継続しながら、白色など他の色の改良も進めて行きたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞）[モーストジョイ特別賞、ニュースタイル特別賞 同時受賞]



品 目 名 : ニチニチソウ
品 種 名 : ソワレ ピーチ
受 賞 者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
育 成 者 : 山田 将弘
育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>
審査講評 :

オレンジ味をおびたパールピンクのやさしい花色。花弁の中心から、数枚の細い花弁が伸びてきて八重咲きの様になる個性的な花形のニチニチソウ。葉は少し撚りの入った照り葉。

花の高さに多少の高低が出て、風に揺れるような観賞価値がある。花の高さが揃っていないくても株揃いの良さは感じられた。

耐暑性があり、ボリュームも出るが、生育は比較的緩やか。花壇に直接植栽しても、コンテナでもオールマイティに楽しめる。

これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与える品種としてベスト・フラワー(優秀賞)とニュースタイル特別賞、楽しい気分をもたらしてくれる品種としてモーストジョイ特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/27撮影)



▲定植後50日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/13撮影)



▲定植後113日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/14撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】これまでソワレはピンクと白の2色のみで色のバリエーションが少なかった。よりお客様にソワレを楽しんでいただけるよう、色バリエーションの拡大を狙った交配を実施。淡いピンク色が特徴のピーチの作出に成功した。

【開発のコンセプト】分枝・生育が良く、大輪八重の品種の開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】八重の花形は、温度によって変化することがあり、春～夏～秋と安定して八重になる品種を選抜するところが難しく、重視しているポイントである。

【今後の展開】引き続きソワレの色バリエーションの拡大、特に濃色品種の開発を狙った育種を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

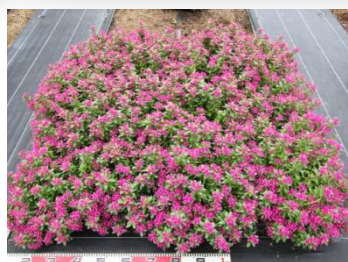


品 目 名 : ニチニチソウ
 品 種 名 : フェアリースター パープル
 受 賞 者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育 成 者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>
 審査講評 : 細めの花弁の小輪系ニチニチソウ。赤みのある紫色で、単色遣いだけでなく、明るい色との組み合わせで寄せ植えしても濃い色味が生きてくる。開花期間中、花色は安定していた。

生育は旺盛で、花つきよく、株のバランスも良い。枝の伸びに長短が出るところも動きが出て、夏には涼しげでよい。

かなり大株になるので、消費者の満足度は高いと思うが、植栽間隔を誤らないよう注意したい。

扱い易く、育てやすい優秀な品種として、ベスト・フラワー(優秀賞)とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子(5/25撮影)

▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子(6/27撮影)

▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子(8/8撮影)

▲定植後113日の露地花壇・群落植栽の様子(9/14撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】より病気に強いフェアリースターの開発を目標に交配・選抜を実施。冬から春の温室での生育、春から秋の屋外での生育を評価し、病気に強いフェアリースター パープルを選抜した。

【開発のコンセプト】分枝まとまりが良く、病気にも強いフェアリースターの開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】耐病性の評価は難しく、冬場の温室内、春から秋の屋外の両方で評価し、どちらの条件でも強い品種を選抜することが重要なポイントである。

【今後の展開】フェアリースターを今よりもさらに育てやすいシリーズにするべく、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニューバリュー特別賞 同時受賞]



品 目 名 : 皇帝ダリアハイブリッド
品 種 名 : ガッツアリアダブルピンク
受 賞 者 : 株式会社ミヨシ(山梨県)
育 成 者 : 天野良紀、鹿毛哲郎
育成者権者: 株式会社ミヨシ
HP : www.miyosi.co.jp

審査講評:

皇帝ダリアと園芸ダリアのハイブリッド。明るいピンク色の花色で、八重咲の品種。

一重系の皇帝ダリアハイブリッドと比較すると1~2ヶ月程度開花が早く、8月頃から開花し、草丈がコンパクトになっていることが最大の特徴。暑い時期に花の傷みや病害虫の害が無い点も見事。

これまでの皇帝ダリアは公共の公園などに向く植物と考えられていたが、支柱の立て方などの栽培情報を提供すれば、一般の消費者が新しいガーデニング素材として楽しむこともできる。

ガーデンデザインの可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種としてベスト・フラワー(優秀賞)とニューバリュー特別賞を同時受賞した。



▲定植後9日の屋根付き施設での様子(6/3日撮影)



▲定植後49日の屋根付き施設での様子(7/13撮影)



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子(8/8撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】皇帝ダリアと園芸ダリアをかけ合わせ、庭植えの強さを持ちながら園芸ダリアの美しさを合わせて持つダリアを開発目標とした。皇帝ダリアは質的短日植物のために11月にならないと開花しない。また草丈が3mにもなり、草丈が伸びすぎて管理大変である。そこで、10月から開花し、草丈も2m前後とコンパクトな皇帝ダリアを目指して、開発を行った。

【開発のコンセプト】皇帝ダリアよりも開花が早く、園芸ダリアよりもウドンコ病に強い、八重咲きを開発目標とした。

【発見・開発の面白さ、難しさ】最も苦労したのが交配作業。皇帝ダリアは11月の短期間しか咲かず、草丈も3m前後と非常に高くなる。交配のための花粉採取や受粉など、脚立を使った高所での作業の連続だった。また種間交配になるために、なかなか種子が採れず非常に苦労した。

【今後の展開】皇帝ダリアの強健さ、連続開花性を持ち、ダリアの花の豪華さ、早生性を併せ持つ品種の開発。

ジャパndeザイン特別賞



品 目 名 : ダイアンサス
品 種 名 : ジョルト ピンク
受 賞 者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

育 成 者 : Linda Laughner
育成者権者: PanAmerican Seed

審査講評 :
濃く鮮やかなピンク色の花が、いろいろな高さで穂のように咲く。耐暑性があり、花上がりがよく連続開花性がある。花ガラや枯れた茎の手入れは必要だが、夏に和の雰囲気のある植物は貴重。単品使いより、他の植物との組み合わせに活躍しそう。日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されるジャパndeザイン賞を受賞。



▲定植後14日の露地花壇での様子
(5/25撮影)



▲定植後34日の露地花壇での様子
(6/27撮影)



▲定植後63日の屋根付き施設での様子 (7/26撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】パン・アメリカンシードにブリーダーとして勤務するリンダ ラフナーは切花品種、花壇苗品種問わず25年以上に渡ってダイアンサスの開発に取り組んできました。ダイアンサス属は多様な種が存在し、まずは出来るだけ様々な種を集めることに専念しました。

【開発のコンセプト】ユニークで多様な種を集めるのと同時に種間交雑を繰り返し行ってきました。その過程で開発をまず進めたのは切り花品種のアマゾン シリーズでした。

アマゾンの持つ高い草丈を持つ特性を引き継ぎ花壇苗品種に応用することを考え挑戦しました。

特に耐暑性に優れ花壇苗に求められる花色が持続する条件として不稔性の特性を付与し種子が着きににくくより生育力が保たれ、開花が持続することに成功しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】種間交雑となり机上の理論は通用せずひたすら試験後雑を繰り返す日々が続きました。結果的にどの種がこれら2シリーズにとって重要か判明しジョルト シリーズの2花色を育成することが出来ました。種間交雑を進める上で花色をより増やすことが困難な点ではありますが、根気よく進めています。

【今後の展開】既に今回の受賞品種のピンクの他ローズを育成しており、新色の展開も予定しています。今後も皆さまにとって活用の幅がより広がるダイアンサスの品種を育成して参りますのでどうぞご期待下さい。

カラークリエイト特別賞



品目名：マリーゴールド
 品種名：ストロベリーブロード
 受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
 育成者：Blair Winner
 育成者権者：PanAmerican Seed
 審査講評：
 耐暑性、連続開花性があり、花つきが良い。花弁は波打ち、優しい雰囲気。
 フレンチマリーゴールドとしては珍しく、中間色の花が開花する品種。少しベージュがかっているのが、シックなアンティーク調の印象もある。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されるカラークリエイト特別賞を受賞。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）



▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子（6/27撮影）



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】パン・アメリカンシードに勤務するブレア ウィナーは永年に及ぶマリーゴールド育種の過程で花弁の裏が美しいマホガニーレッドとなる変異個体を発見しました。

【開発のコンセプト】既存のマリーゴールドは鮮明な黄色、オレンジ、赤銅色の花色は存在するものの中間色はなく突然変異の発見を受けて画期的な花色を育成することをコンセプトとしました。受賞品種のストロベリーブロードのようなピンクベージュとなる花色が育成できたら画期的だと考えました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】突然変異体のマホガニーレッドはもともと表面に表れておらず、黄色の部分が多く現在のような赤色のベースが表面に表れていませんでした。また、これらの変異体から種子を獲得することが困難でまずは多くの種子を獲得できる組み合わせを行うことに専念しました。

その過程で表面にも希望とする花色が現れる組み合わせを発見し、さらに世代を進め高品質で大量の種子生産が可能な組み合わせをもって育成しました。

【今後の展開】花色がより鮮やかな赤色で赤銅色となる「ファイヤーボール」を同時に発表しました。数年先にはストロベリーブロードの姉妹品種も登場する予定です。

花壇苗はもちろんのこと既存の黄色やオレンジ色とは異なる中間色のマリーゴールドは鉢物などにも活用が可能です。今後とも既成概念を超えるマリーゴールドの育成に努めてまいりますのでどうぞご期待下さい。

ベスト・フラワー（優秀賞）[カラークリエイト特別賞 同時受賞]



品 目 名：カリブラコア
品 種 名：ミリオンベル レッド
受 賞 者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

育 成 者：村上 保之、宮崎 潔、金谷 健至
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評：

高温期に花色が薄くなる品種が多いなか、観察時期を通して常に深みある鮮やかな赤い色味を保っていた。盛夏に一度花数が減ったが、花密度が減った際に見えてくる明るいグリーンの葉色とのコントラストも美しいとの評価もあった。株のサイズ、バランスがよく、株が乱れにくい。セルフクリーニング性も高く、消費者にも育てやすくおすすめできる。赤色品種でこの耐暑性は秀逸である。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/12撮影)



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/10撮影)



▲定植後54日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/22撮影)

■受賞者コメント（受賞時）

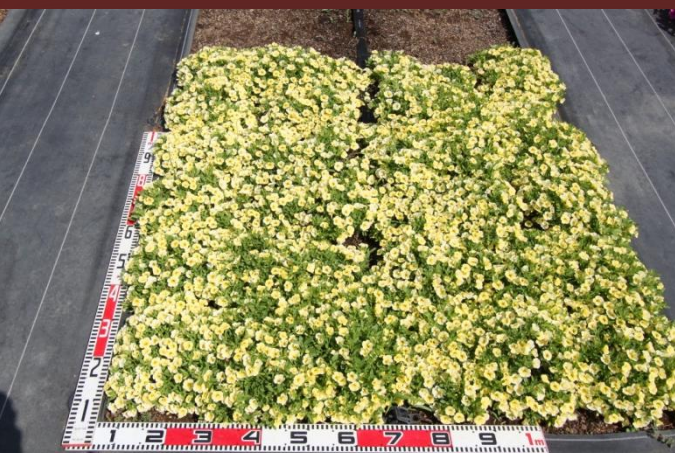
【開発の経緯】 ミリオンベルの赤色品種は以前も存在したが、‘真っ赤’と言えるような濃い赤はなく、若干枝があらいい傾向があった。そこで、まさに‘真っ赤’と言えるような濃い赤で分枝、生育も良い強健な品種を作出することを目標に交配、選抜を進め、今回のミリオンベルレッドの作出に成功した。

【開発のコンセプト】 分枝・生育が良く、強健な‘真っ赤’のミリオンベル。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 カリブラコアでは赤色の品種の作出は難易度が高く、いい赤色で、かつ強健な品種を選抜するところに難しさがあった。

【今後の展開】 ミリオンベルを今よりもさらにお客様が楽しんでいただけるカリブラコアシリーズにするべく、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞）[カラークリエイティブ特別賞 同時受賞]



品 目 名：カリブラコア
品 種 名：ティエルノ クリアイエロー
受 賞 者：松原園芸(群馬県)
育 成 者：松原園芸
育成者権者：松原園芸
HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
審査講評：

クリアな黄色が夏の日差しの中で美しい。近くで見ても、また、遠くから見ても目を惹く花色。株は、コンパクトで一般の消費者にも育て易いが、家庭用以外にも修景用のグランドカバーとしての用途もよいだろう。

密植しすぎないように注意をすれば蒸れにくく、ピンチをした株の回復も早かった。雨が降ると花が閉じるので花傷みが目立たない点も評価できる。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（5/12撮影）

▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子（6/10撮影）

▲定植後101日の屋根付き施設での様子（8/6撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】 カリブラコアは、春から秋にかけて長く楽しめる植物で、花付きも類似植物のペチュニアに比べて良いが、耐病性、耐暑性が若干弱く感じていた。

そこで耐病性、耐暑性、ならびに株張りに優れ、夏の暑さにも負けずに旺盛に成長するカリブラコアの開発を目指した。

【開発のコンセプト】

耐病性、耐暑性、耐環境性の強化。

旺盛な株張りとし生育力。連続開花性の向上。

1株でも大きく育ち、楽しめるパフォーマンス性。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 交配から選抜まで、2年以上をかけて行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性が高品種よりも向上し、株張り性、開花性も向上させることができた。

【今後の展開】 同様の強健なカリブラコアの色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）[カラークリエイト特別賞 同時受賞]

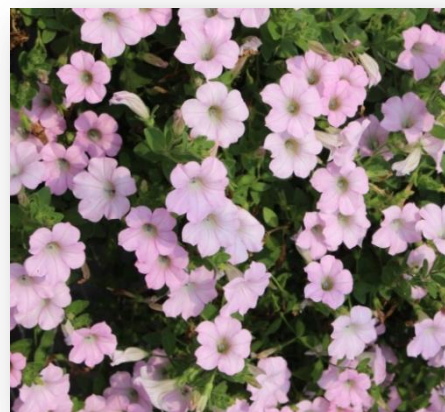


品 目 名 : ペチュニア
品 種 名 : ソフィアの宝石 ホワイトピンク
受 賞 者 : 有限会社 村岡オーガニック(鳥取県)
育 成 者 : 村岡 昌美
育成者権者: 村岡 昌美
HP : <http://muraokaorganic.com/>

審査講評 :

1株のパフォーマンスが非常に良い。ほふく性品種の中ではそれほど株傷みが目立たず、連続開花性、耐暑性もある。大きく育つ品種だが、摘芯してからのリカバリーも早く株の整形も容易で、一般の消費者でもとても育て易い。

小輪サイズの花が株一杯に咲き見ごたえがある。涼しげなホワイト系のピンク色の小輪系はペチュニアでは珍しく、人気となるであろう。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子(5/12撮影)



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子(6/10撮影)



▲定植後101日の露地花壇・群落植栽の様子(8/6撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】ソフィアの宝石ホワイトピンクは、以前ジャパンフラワーセレクション2012-2013に入賞したソフィアの宝石バイオレットの姉妹品種です。今回は数ある開発品種の中で、弊社で栽培調査をした結果、パフォーマンスに納得のいく結果がでましたので、商品化しました。

【開発のコンセプト】お客様が栽培された時の育てやすさを最も重要視して開発しています。そのために、1株で大きく育ち、花数も多い品種である品種に仕上げました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】沢山の品種の中で、納得のいく品種を作り出すのは本当に大変なことです。お客様に喜んで頂ける商品を商品化するまでには、多くの時間と多くの労力を費やし、また何度も栽培調査をしなければいけません。

【今後の展開】より多くの方に、ソフィアの宝石ホワイトピンクを通して花を育てることの楽しさや園芸のすばらしさが伝えることができたいと思っています。

ベスト・フラワー（優秀賞）[グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品 目 名：インパチェンス
品 種 名：バウンス ピンクフレーム
受 賞 者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)
育 成 者：Mario Guillen
育成者権者：Ball Horticultural Co.
HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>

審査講評の下でも育て易いタイプのインパチェンス。6月初旬に植え付けてから、8月末の観察終了までの約3か月間、株が休むことなく成長し、花も連続して開花した。

丸くドーム型に育つ品種で、株の形がまとまっており株割れをしてこなかった。遠目に見ると暗めに見える葉色だが、尖った葉と葉脈の赤色もポイントになっている。



▲定植後8日の露地花壇・群落植栽の様子（6/10撮影）



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子（7/14撮影）



▲定植後52日の露地花壇・群落植栽の様子（7/23撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】

インパチェンスは日陰の植物として定番ですが、真夏の日向から日陰まで場所をでも素晴らしいパフォーマンスを発揮する品種を目指して改良を重ねました。

【開発のコンセプト】

夏場に育てやすく、いつでも美しいことを重要視して開発しました。直射日光下でも日陰でもどこに植えても旺盛に生育し開花を続けます。生長すると360°どこからみても丸いフォルムに仕上がリ、大きく咲き広がる草姿を楽しめるのも特徴です。水枯れから回復の早さも重要視して育種したので、水やりのタイミングを逸しても短時間で元の草姿に戻リ、いつでも美しい状態を楽しめます。

【今後の展開】

年々暑さが厳しくなる昨今で品種選びに多くの業界関係者、エンドユーザーともに悩んでいることと思います。バウンスが選択肢の一つとして定着できるように認知を広めていきたいと思っています。

グッドパフォーマンス特別賞



品 目 名：ニチニチソウ
品 種 名：F1バリエント オーキッド
受 賞 者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

育 成 者：Denis Flaschenriem
育成者権者：Ball Horticultural Co.
HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>

審判講評直植えでの耐病性が特に評価でされた。連続開花性も問題なく、一枝一枝の高さがランダムに生長するところも奥行き感が出ておもしろい。家庭用としてだけでなく、夏のランドスケープに草丈のボリュームが出る植物としての利用価値も高い。



▲定植後8日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/10撮影)



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/14撮影)



▲定植後66日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/6撮影)

■受賞者コメント (受賞時)

【開発の経緯】 ニチニチソウは従来、花壇定植には向かない植物とされていました。しかしながら、ニチニチソウを花壇用途へという需要の高まりと、潜在的なニーズに対応するため、5年以上に亘る研究開発を続け、ようやく今回の品種投入を実現できました。

【開発のコンセプト】 品種開発のプロセスでは、今回の耐病性のように機能の重視とともに、オーナメンタルとしてのいわゆる外観的な魅力も併せもつ必要があります。バリエント オーキッドについては、強健性に加え、花卉の大きさや発色、草姿バランスなど複数の評価基準のもとで選定されています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 機能性と外観的な美しさを両立させる品種開発では、シリーズ内の揃いの維持という点で、より高度で困難な技術を求められます。一方で、当初は特定の立ち枯れ病への耐性にフォーカスしていたのですが、雑種強勢の相乗効果によって、従来種よりも環境適応力などの点で相対的な優位性も確認されています。

【今後の展開】 まずは発売後、マーケットからフィードバックされる情報を適宜確認し、必要であれば継続的な改善を進めることになります。同時に、色幅を増やすことでシリーズ全体のプレゼンスを高めることも続ける計画です。立ち枯れ病に耐性と性質の強さを兼ね備えているので、ニチニチソウの定植をあきらめていた場所に使用してもらいたいと考えています。

ジャパンデザイン特別賞



8/6画像



品 目 名：ペチュニア

品 種 名：サフィニアアート ローズイエロー

受 賞 者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）

育 成 者：山田 将弘

育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社

HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評： ローズピンクの花弁の中央に黄色の星形のアクセントが入るユニークな品種。定植初期の生育に特に安定感があった。密植しすぎずにのびのびと植栽すると蒸れが出にくく良さが出る。1株で寄せ植えなどに使うこともお勧め。

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】 これまで、白色スターパターンの品種しかなかったが、白色以外のスターパターンがあれば、よりコントラストが美しいのではないかと考え、有色品種との交配を実施。選抜した結果、今回のローズ&黄色スターパターンの品種を作出することに成功した。

【開発のコンセプト】 日本の高温多湿の夏にも負けないガーデンパフォーマンスの強さを兼ね備えたスター咲きサフィニア。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 複色の品種開発は、色パターンの安定しないことが多く、また時期によっても色パターンが変わることがあるので、シーズンを通じて色パターンの安定した品種を選抜するところが難しく、重視しているポイントである。

【今後の展開】 今後は黄色スターパターンの色バリエーションの拡大を進めて行きたいと考えております。

ニュースタイル特別賞



品 目 名：ツルレイシ
品 種 名：上里アップルゴーヤ
受 賞 者：有限会社マルコウ種苗(埼玉県)
育 成 者：岡村 秀雄
育成者権者：岡村 秀雄
HP : marukou2251.com

審査講評：

白い果皮、果実の肩部が平らでリンゴのような形に見えるゴーヤ。

緑の葉に白い実のコントラストが楽しい。葉の下に隠れるように実が成るので、グリーンカーテンの仕立て方を工夫して、実が見えるように栽培するとより楽しめる。



▲定植後0日の露地花壇の様 (5/13撮影)



▲定植後40日の露地花壇の様子 (6/22撮影)



▲定植後86日の露地花壇の様 (8/6撮影)

ブリーディング特別賞



品 目 名：ヒマワリ
品 種 名：サントスティック イエロー
受 賞 者：株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
育成者権者：HM. CLAUSE
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>

審査講評：

矮性のヒマワリは、花が終わればその株は終わりという品種が多かったが、側枝から次々に蕾が上がり、花径は小さくなるものの咲き続ける。育種の新しい形といえる。

40センチほどの高さまでの生長なので、風雨で倒れにくく、商業施設や公共植栽にも使いやすい。ホームユースでも今までにないヒマワリを使った夏の寄せ植えを楽しむことができる。



▲定植後8日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/10撮影)



▲定植後22日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/2撮影)



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/14撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）[カラークリエイト特別賞 同時受賞]



品 目 名：マンデビラ
 品 種 名：サンパラスビューティ ボルドー
 受 賞 者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
 育 成 者：見里 朝也
 育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評： 深い赤色の花が特徴的で、つやのある葉とのコントラストが美しい。分枝も良く連続開花性にも優れている。
 基本的には摘芯不要で、乾燥気味の管理でよく、夏の水やりもそれほど手がかからない。花は中輪で葉も比較的小さく、大きく生い茂るタイプのマンデビラではないが、つるが良く伸び、暑い夏に涼しげなスクリーンを作ったり、他の植物と組み合わせで寄せ植えにするなどの楽しみ方もできる。総合的に優れておりベスト・フラワー（優秀賞）を受賞するとともに、特徴的な花色によりカラークリエイト特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の露地花壇群落植栽の様子（5/8撮影）



▲定植後50日の露地花壇 群落植栽の様子（6/26撮影）



▲定植後120日の露地花壇群落植栽の様子（9/4撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】

実際の交配・実生選抜が行われたのは数年前。しかしその後、病理・培養チームが無病のクリーンストックを確立、試験管内で初期増殖を行いました。

【開発のコンセプト】

トレリスやアーチに巻きつくツルをしなやかに良く伸ばすサンパラス・ビューティの性質はそのままに濃いシックな色を追加する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

理論的に組み立てて交配しても中々うまく行かない事が有る中で、偶発的な実生にポツと良い個体が現れたりもする。しかしその偶然に気がつくことができるかどうかの難しさでもあり、面白さでもある。

【今後の展開】

お客様のお手元で色々な楽しみ方が出来る多種多様な品種を作って行きたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品 目 名：ユーフォルビア
 品 種 名：F1 Glitz
 受 賞 者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育 成 者：Scott Trees
 育成者権者：Ball Horticultural Co.
 HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>
 審査講評： 摘芯をしなくても草姿が整い、分枝もよく、株を裏返してみても傷みや汚れが少なかった。真夏に花数が減ったが、明るめのグリーンの葉は酷暑にも耐え継続して美しかった。気温が下がった後に再び花数が増え、株全体のボリュームも増し、素晴らしいパフォーマンスを見せた。従来栄養繁殖系の品種のみが流通しているユーフォルビアだが、この品種は実生品種。分枝の良さや個体間の揃いなど品質面に加え、コスト面でも期待が出来る。消費者の満足度の高い品種となるだろう。
 総合的に優れている品種としてベスト・フラワー（優秀賞）を受賞するとともに、優れたパフォーマンスからグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後8日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/10撮影)



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/14撮影)



▲定植後66日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/6撮影)

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】暑さに強い草花品目を増やすことで、夏場の園芸市場をより活性化させたいという展望のもと、ユーフォルビアの実生化という案が具体化されました。すでに栄養繁殖系では一部のガーデナーから高い人気を得ており、種子系グリッツの投入によって流通数量を拡大し、更なる認知度の向上を目標としています。

【開発のコンセプト】従来ユーフォルビアは、主にポットやコンテナによって展開されてきましたが、実生品種であるグリッツでは、花壇需要にも対応可能なアイテムとしての機能を強化しました。夏マーケットへの浸透に加え、用途の拡大による競争優位を念頭に開発が進められました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】ユーフォルビア（graninea種）は低温に敏感で、また根があまり強くない植物として一般には知られています。そのためグリッツは、外部環境への適応力、そして遺伝的な強勢による根の強化が重要な条件となり、その実現において多くの時間が費やされました。その一方で、この植物のもつ多様な可能性を確認できたことは大きな成果でした。

【今後の展開】グリッツの種子生産や品質的な安定化という点では、今後も継続的な改良が必要と考えております。マーケットサイドからの情報をフィードバックしながら、いままで以上の品質の向上に努めて参ります。

ベスト・フラワー（優秀賞）[グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品 目 名：ベゴニア

品 種 名：ワッパー レッドグリーンリーフ

受 賞 者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

育 成 者：Sabine Kratzenberg

育成者権者：Benary

HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>

審査講評：

ワッパー レッドブロンズリーフと同じく、耐暑性、連続開花性に優れた品種。赤い大輪の花はつやのある明るめのグリーンの葉によって爽やかに感じられる。

大きく育つ特徴はワッパー レッドブロンズリーフと見劣りしない。単品で見ると個性的なブロンズリーフは面白さがあるが、一般の消費者の方が花壇に植える場合には、明るい葉色のグリーンリーフも好まれるだろう。

迫力のある草姿は、一見して従来の品種と識別できる。ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞するとともに、グッドパフォーマンス特別賞を受賞した。



▲定植後2日の露地花壇・1株植えの様子（5/30撮影）



▲定植後44日の露地花壇・1株植えの様子（7/11撮影）



▲定植後114日の露地花壇・1株植えの様子（9/19撮影）



▲定植後2日の露地花壇・群落植栽の様子（5/30撮影）



▲定植後44日の露地花壇・群落植栽の様子（7/11撮影）



▲定植後日の露地花壇の様子（8/27撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯/開発のコンセプト】耐暑性に優れ大きく生長しながらも開花が持続するベゴニアの育成を目標としました。

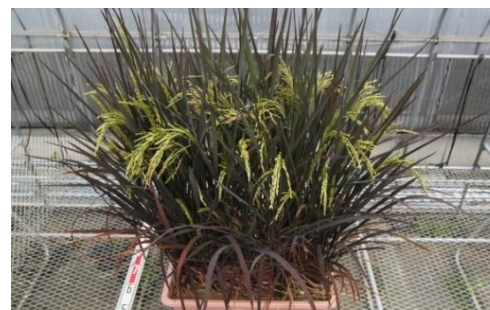
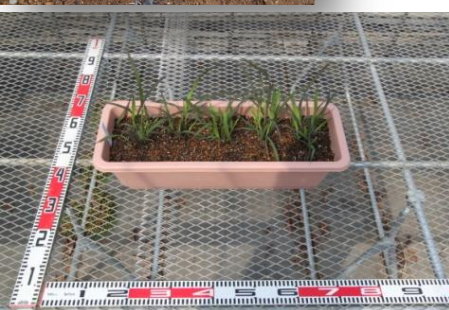
【今後の展開】ワッパーは腰の高さまで大きく生長しながら、約7cmもの存在感がある大きな花を咲かせる非常に丈夫なベゴニアです。ベゴニアでありながらも直射日光下でも葉焼けすることなく生長し、花は初夏から霜が降りるまで長期間渡って楽しむことは出来ます。株が大きく生長する分、少ない本数でも広い面積をカバーすることができるためランドスケープ用途としては最適な品種です。2020年の夏のオリンピック商材としても活躍を期待しています。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニューバリュー特別賞 同時受賞]



8/27画像

6/10画像



▲定植後0日の屋根付き施設の様子
(6/10撮影)

▲定植後31日の屋根付き施設の様子
(7/11撮影)

▲定植後86日の屋根付き施設の様子
(9/4撮影)

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】日本でなじみの深いイネを、寄植えや花壇への植栽の素材として使えたらとっても面白いかなと思い開発をスタートした。しかし、ただの緑色の葉では稲穂が出てくるまでは、雑草のようだし、普通のイネでは水田などの水があるところに植栽しなければならず、ガーデニングには使えない。そこで、どこでも植栽でき、なおかつ観賞に適したイネを目指して開発を行ってきた。

【開発のコンセプト】

- ・水を張らずに、花壇や鉢植え、ハンギングバスケットでも植栽可能なイネ。
- ・葉を観賞でき、稲穂も楽しめるイネ。
- ・栽培が容易で、耐暑性、耐環境性に優れたイネ
- ・ポットで生産でき、生産性が高くなるようにする。

【発見・開発の面白さ、難しさ】2014年に少量を関東圏の市場へ試験販売したが、このイネの良さを理解してもらえず、値がほとんどつかなかったが、個人で寄植えや植栽などの講師をしている人たちからは好感触であり、市場と実際に使う人たちの植物に対する温度差を感じた。また新しい素材をどのようにPRしていくべきかを考えさせられ、とても面白い発見であった。

【今後の展開】食育でバケツでイネを育てたりするが、このイネは庭にも植栽ができ、バケツは不要なので、ガーデニング以外の食育などでも展開していきたい。

品 目 名：イネ
品 種 名：オリザ de ショコラ
受 賞 者：松原園芸(群馬県)
育 成 者：松原園芸
育成者権者：松原園芸
HP: <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
審査講評：



葉の色が赤褐色のカラーリーフとして楽しめる銅葉のイネ。穂の色は緑色でその葉色とのコントラストも美しい。

耐暑性が強いいため、夏場に楽しめるカラーリーフである。耐病性、耐乾性も高く、酷暑にも管理がしやすい点も優れていた。

カラーイネとしていわゆる「田んぼアート」などに利用される品種は水稻が多いが、この品種は水に浸水して栽培する必要がなく、通常の園芸用土で花壇や鉢植え等のガーデニング素材として栽培が可能な陸稲である。

一般の消費者の方がイネを園芸に取り入れカラーリーフのように楽しんだり、ランドスケープに取り入れるなど、園芸素材としての「イネ」の新しい価値を創造できる興味深い品種である。ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を受賞した。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ジャパンデザイン特別賞・カラークリエイイト特別賞 同時受賞]



品 目 名：セロシア
品 種 名：ファイヤーダンス ピンク
受 賞 者：豊明花き株式会社（愛知県）
育 成 者：松永 一
育成者権者：豊明花き株式会社
HP : <http://www.toyoake.or.jp/>
審査講評：

花穂が蕾から満開になるまでに炎が燃え上がるような動きを見せる個性的な草姿。蕾から満開にいたるまで、その過程の変化も楽しめ、長期間鑑賞できる。花穂の形だけでなく、ダスティパステル調のピンク色にも特徴があり、秋の庭に風情ある景色を作ることができる。花穂のボリュームが増してきても株がしっかりとてぐらつかず、風雨にも倒れることなく安定していた。葉の傷みや汚れもほとんど見当たらず、初心者の方でも失敗無く、夏から秋の花壇で長く楽しむことができる。総合的に優れた品種であり、ベスト・フラワー（優秀賞）と同時に、カラークリエイイト特別賞、ジャパンデザイン特別賞の2つの賞を同時受賞した。



▲定植後5日の露地花壇・群落植栽の様子（8/11撮影）



▲定植後29日の露地花壇・群落植栽の様子（9/4撮影）



▲定植後65日の露地花壇・群落植栽の様子（10/10撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】

インパクトのある花穂と開花期の長さ、高温多湿に強い屋外向けのガーデニング商材の開発

【開発のコンセプト】

女性が好む色、光沢感のある色の作出。夏から秋に向けて花穂の色が変化

【発見・開発の面白さ、難しさ】

他のケイトウにない花穂のボリューム感。花穂が種になりやすく肥培管理が難しい。

【今後の展開】

植え込んだ後のパフォーマンスが素晴らしいので、ご家庭の花壇だけでなく、植栽などの修景用にご利用頂ける商材として販売促進を図る。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品 目 名：ニチニチソウ
 品 種 名：F₁タイタン ローズハロ
 受 賞 者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
 育 成 者：Denis Flaschenriem
 育成者権者：Ball Horticultural Co.
 HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>
<http://www.mbflora.co.jp/>

審査講評：大輪のローズピンクの花の真ん中にはっきりとした白い目に入る複色の品種。株の揃いが良く、ピンチしてもしなくても安定的な生長が見られた。多花性で分枝もよく、耐病性・耐暑性も高くパフォーマンス的に申し分ない。ニチニチソウは、生育過程で株が揃わずに整形花壇では使いにくいと言われることもあるが、この品種は草姿が安定しており整形花壇や造園での植栽で本領が発揮できるだろう。また、発色のよい大輪品種は、外に出にくい猛暑時期の花の楽しみ方として、屋内のリビングから遠目に見ても美しい品種という提案も可能だろう。総合的に優れた品種としてベスト・フラワー（優秀賞）を受賞するとともに、優れたパフォーマンスが評価されグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後19日の露地花壇・群落植栽の様子（7/2撮影）



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子（7/25撮影）



▲定植後77日の露地花壇・群落植栽の様子（8/29撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】10年ほど前までは、ニチニチソウといえば流通している品種のほぼ100パーセントが固定種でした。パンアメリカン・シードでは、強健な株、大きな花、そして個体同士の揃いといった、現在ではF₁ハイブリッド種の代名詞的な特性を備えた品種の開発に着手しました。強健な特性を持った品種育成にあたり、雑種強勢による病気への耐性、低温環境下での生長が主要な課題でした。また、主要な特徴である大輪と株の揃いについては、生産から消費までの重要なマーケットニーズであり、量販店展開という視点からも欠かせない要件でした。F₁ニチニチソウはその後、競合品種の登場と共に順調に需要が拡大され、最近では主要花色の他に今回受賞したローズハロのような中央に大きな目に入るバイカラー品種の投入も可能になりました。今回のF₁タイタン ローズハロの受賞は近年稀に見る酷暑であった2013年夏を難なく乗り切り、鮮やかな花が日本で咲き続けた証明となり、パンアメリカン・シードによる近年のニチニチソウの育種開発が高く評価されたという点で非常に喜ばしい限りです。

【開発のコンセプト】ニチニチソウは夏の草花であり、高温条件を好みますが、多雨や多湿はあまり得意としない植物です。しかし、F₁タイタンは、花壇やプランターに植えた後も、雑種強勢によって従来のニチニチソウよりも力強く生育し、また水枯れストレスにも耐性がある言わば「屋外で安心して使えるニチニチソウ」をコンセプトに育種開発を続けてきました。今回受賞のF₁タイタン ローズハロは、ユニークな花色という視覚的なポイントも高い品種です。

【発見・開発の面白さ、難しさ】発売当初はF₁ゆえに種子販売価格が高額になり、固定種に比べなかなか受け入れられず、花色の拡張についてもネガティブな雰囲気がありました。しかし、日本のマーケットも量から質への転換期をむかえ、F₁品種のリードタイムの早さや生産性の高さ、最終的な廃棄率の低さなどが認知され、今日のようにニチニチソウ需要の一翼を担う存在となりました。

【今後の展開】花色の追加は今も継続しています。ハロ（中央に大きな目が入る）のような個性的な花色の品種はまだ多くないので、今後も開発を続けいく予定です。また新色と同時に、既存品種の改良も重要な要件と位置づけて進めていきます。

ベスト・フラワー（優秀賞）【ニューバリュー特別賞、グッドパフォーマンス特別賞、カラークリエイト特別賞同時受賞】



品 目 名：ペチュニア
品 種 名：エスプレッソトリュフ
受 賞 者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者：大屋 寛高
育成者権者：株式会社ミヨシ
HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>
審査講評：

黒色に近い花色とベルベットののような質感が個性的な品種。株姿は1株ごとこんもりと丸くまとまるが、生育に従い横に広がる這い性で、コンテナでの栽培だけでなく、花壇でも旺盛に育ち、梅雨時期でも病気に罹らず、猛暑下でも休むことなく開花し続けた。花色が濃いために心配される花卉の傷みや花ガラが、露地花壇でもコンテナでもほとんど気にならないという点も高く評価された。カラフルな花色が多いペチュニアだが、シックな印象の素材として使用シーンや他の花との組み合わせを消費者に提案していけば、新しいガーデニングの楽しみを広げる期待が持てる。色の新しさ、美しさに加えて育てやすさも備えた消費者におすすめできる優れた品種である。総合的に優れた品種としてベスト・フラワー（優秀賞）を受賞するとともに、新奇性、優れたパフォーマンス、インパクトある花色が評価され3つの特別賞を同時受賞した。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子（4/25撮影）

▲定植後32日の露地花壇・群落植栽の様子（5/27撮影）

▲定植後46日の露地花壇・群落植栽の様子（6/10撮影）

▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（7/10撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

【開発の経緯】2011年、アメリカのBall社で育成された世界初の黒系ペチュニア「ブラックベルベット」「ファントム」「ピンストライプ」が株式会社ミヨシより発売され、園芸業界で話題となりました。株式会社ミヨシでは高温多湿の日本の気候により順応した小輪多花性の黒色品種の開発を行いました。

【開発のコンセプト】ピンク、ブルー、レッドなどカラフルな花色が主流であったペチュニアに黒系花色を導入することで、今までと違った花壇、寄せ植えを演出し、ガーデニングの幅を広げることが可能になると考えました。高温多湿の日本の気候に適応し、小輪多花性で株張りが良く、素人でも育てやすい変わり色の黒系品種を目指して育成を行いました。さらに、花卉を厚くしたことで降雨からの回復が早くなり、ペチュニアの弱点を克服することに成功しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】黒色ペチュニアは、花卉先が変形する、花色が安定しない等、不良形質を伴うことがありました。それらの形質を克服するために試行錯誤を繰り返し現在の「エスプレッソトリュフ」が誕生しました。

【今後の展開】ペチュニアの花色に新たなバリエーションが加わり、今までにない用途も見込まれます。今後は、個性的な花色でありながら日本の気候に適応したトリュフシリーズに新色を加えていく予定です。

ベスト・フラワー（優秀賞）[グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品 目 名：アングロニア

品 種 名：アークエンジェルシリーズ パープル

受 賞 者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

育 成 者：Ellen F. Leue

育成者権者：Ball Horticultural Co.

HP：http://www.mbflorea.co.jp

審査講評：

白いブロッチが印象的であり、また、黄色・オレンジ色の花の多い夏の花壇で、活用しやすい紫色。咲き終わった後の花ガラが目立たないのも評価された。「セレニータシリーズ パープル」と同様、高温多湿にもしっかりと耐え株張りもよく、分枝性・連続開花性ともに高いことが観察された。アングロニアとしては大輪系だが、枝が柔らかいのが特徴的であり、夏の豪雨に当たった際に多少しなりはしたが、折れることはなく、豪雨の後2週間ほどで新たな脇芽も育ち元に戻った。消費者に安心してすすめられる品種としてベスト・フラワー(優秀賞)とグッドパフォーマンス特別賞の同時受賞となった。



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子(6/7撮影)



▲定植後39日の露地花壇・群落植栽の様子(7/9撮影)



▲定植後92日の露地花壇・群落植栽の様子(8/31撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

【開発の経緯】実生系で唯一のアングロニア品種を販売しているパンアメリカン・シードを含むボールグループには、豊富な遺伝資源があります。実生系に比べ、大輪でコンパクトな品種を選抜し、シリーズ化しました。

【開発のコンセプト】アングロニア自体の特性である、非常に高い耐暑性のもとより、雨季にも耐性があり、初夏から秋まで順調に開花することを目標としました。また、品目の特徴である草丈の高さや花房の一花ごとの間隔を短縮させ、コンパクトな草型に改良しました。これにより、コンテナでの寄せ植え素材としてさらに容易に扱える利点を得ました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】実生系品種と差別性を図るため、以下3点の課題を設けて開発を行いました。

- ・強健で育てやすく、春から秋にかけて満足を与える開花があること。
- ・4花色あるシリーズを同様のコンパクトな草型、大きな花径で揃えること。
- ・増殖、栽培のしやすさ。

【今後の展開】地球温暖化や昨今の異常気象による猛暑の影響などで、益々高温期に開花が持続する品種が求められています。

アングロニア アークエンジェルは引き続き皆様にご満足を与えるシリーズとして開発を続けてまいります。

ベスト・フラワー（優秀賞）[モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品 目 名 : ニューギニアインパチェンス
品 種 名 : サンパチェンス®ピーチブラッシュ
受 賞 者 : 株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
育 成 者 : 佐藤智博、峰村慎司
育成者権者: 株式会社 サカタのタネ
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
審査講評 :

従来のサンパチェンスは濃い目の花色が多いなか、「ピーチブラッシュ」は日本人の感性に訴える優しい花色が、新鮮な印象を受ける。出品者によれば「ほんのりさくら色」。花色には濃淡があり、これにより株全体で雰囲気の良いグラデーションが、さらにかわいらしさを惹きたてている。また、従来のものと同様に抜群のパフォーマンスを見せたが、さらに特筆すべきは、これまでのものより肉厚な丸弁の花びらで花もちに優れるうえ、茎の節間がつまみついて、株が比較的コンパクトにまとまり、バランスが非常に良い。これは、ガーデンドesignerにとっても完成予想がしやすく、個人邸の庭だけでなく、公共の場でも使ってみたくなる品種である。また、露地花壇でもコンテナ植えでもよく育ち、さらに露地では台風が通り過ぎた後でもダメージをほとんど受けず丈夫であった。ベスト・フラワー(優秀賞)とモーストジョイ特別賞の同時受賞となった。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子(4/5撮影)



▲定植後63日の露地花壇・群落植栽の様子(6/7撮影)



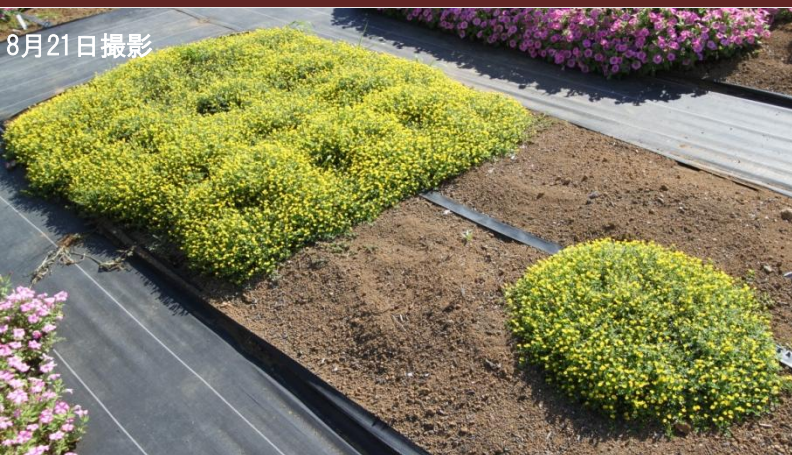
▲定植後97日の露地花壇・群落植栽の様子(7/11撮影)

■受賞者コメント(受賞時)

日本の酷暑に耐えられる夏の花は限られています。そこで暑さに強く、世界中の夏花壇の風景を変えるような花をつくろう、というコンセプトで開発が始まりました。夏の暑さにも負けずに大きく育ち、鮮やかな花を春から秋まで咲かせるサンパチェンス®。その姿の美しさだけではなく、従来の花き園芸植物と比べて高い二酸化窒素(NO₂)やホルムアルデヒド(HCHO)浄化能力や二酸化炭素吸収能力をもち、さらに裸地に打ち水するよりも効率的かつ持続的に温度を下げる打ち水効果ももつことから当社は「環境浄化植物」と位置づけています。そして、新たなサンパチェンス®の機能として、水中に溶けた窒素やリンといった栄養塩類に対して高い浄化能力があることが岡山大学環境理工学部の沖陽子教授らとの共同研究によって分かりました。サンパチェンス®は大気も水も浄化し、打ち水効果ももち、そして見た目も美しい花です。現在、家庭園芸向けの苗販売が主ですが、今後はこのようなサンパチェンス®のもつ機能性を生かし、さまざまなシーンを想定した植栽需要にも対応して参りますのでご期待ください。

ベスト・フラワー（優秀賞）[グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]

8月21日撮影



品 目 名 : メカルドニア
品 種 名 : イエロークロサイト®
受 賞 者 : 株式会社 サカタのタネ
(神奈川県)

育 成 者 : 鴨川知弘、小島仁司
育成者権者 : 株式会社 サカタのタネ
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
審査講評 :

夏場にはあまり見られない鮮明な黄色の花色と、グランドカバーとして使用できる全く新しいガーデンアイテムとして期待できる品種である。横へ広がる繁殖力がとても良く、また花つきも優れ、次から次に花を咲かせる。夏場の高温時は、通常どの品種でも花つきが悪くなるが、イエロークロサイトは花数が減る事がなく、次から次に花をつけた。「グランドカバープランツ」のアイテムのバリエーションが少なかったなかで、ガーデンの新たな楽しみ方を提案できる優れた品種であり、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞の同時受賞となった。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/5撮影)



▲定植後48日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/23撮影)



▲定植後81日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/25撮影)

■受賞者コメント（受賞時）

明るい日差しに春を感じる季節から、緑の葉に1センチほどのレモンイエローの花が咲き始めます。雨にも強く、夏の酷暑下でも開花が途絶えず、生育旺盛に地面に広がる姿はまるでレモンイエローのカーペットのようです。この可愛らしい観賞草花には「横浜発世界有数の技術と知恵」が詰まっています。ゴマノハグサ科で、南米アルゼンチン原産のメカルドニア・イエロークロサイト®は、1993年に発効した生物多様性条約を考慮して、INTA*とサカタのタネが行った遺伝資源の共同探索事業から得られた素材から開発された草花です。名古屋市で2010年に開催された、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で採択された名古屋議定書の中に「遺伝資源へのアクセスと利益配分」（ABS）という条項がふくまれ、このイエロークロサイト®は、ABSを踏まえて開発、販売されている数少ない植物です。その売上げの一部は、生物多様性条約に則り、アルゼンチン国へ還元され、同国の生物資源保護などに役立てられます。当社は今後も生物多様性を考慮した育種を進めてまいりますので、ご期待ください。*INTA(アルゼンチン国立農牧技術院)

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]

8月21日撮影



品 目 名 : トレニア
品 種 名 : カウアイ バーガンディ
受 賞 者 : Ball Horticultural Company
育 成 者 : Rolo Solano
育成者権者 : Ball Horticultural Co.
HP : <http://www.ballhort.com/>
審査講評 :

梅雨の時期から夏場にかけての高温多湿の環境に強く、プランターや花壇で花期を長く楽しむことができる。直射日光のもとでも色褪せしにくく、安定した花色が見られた。株張りは特に手を加えなくても株元からも良く分枝するため、全体がバランスよく調和的に育ち、特に最盛期のボリューム感は見事であった。連続開花性、耐雨性、耐暑性、耐病性に優れ、一般の家庭でも手軽に育てやすく、店頭でも安心して推奨できる。総合的に優れている品種としてベスト・フラワー（優秀賞）を受賞するとともに、優れたパフォーマンスから、グッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/8撮影)



▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/6撮影)



▲定植後56日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/28撮影)

■受賞者コメント（受賞時）

トレニアは夏の花壇で比較的良好に使われる植物でありながら、直射日光下で褪色しやすいなどの理由で、十分な評価がなされてきませんでした。今回のカウアイの開発に際しては、まず何よりも発色の持続性ということから着手しました。

高温や強い紫外線にさらされても色落ちしにくい系統へ、長い時間をかけてセレクトが行われました。さらにトレニアという植物が、夏の花壇で求められる客観的な機能、つまり耐久性や発色、そしてプレゼンス（存在感）といった点でも高いパフォーマンスが発揮される品種が完成しました。

バーガンディはこのシリーズの中のキーカラーであり、なくてはならない花色。従来からのトレニアと比較しても、生産過程ではコンパクトで作りやすく、そしてエンドユーザへは定植後に高い効用を提供できる品種であり、今後もバイカラーなどの新色の投入を計画しています。

ニューバリュー特別賞



8/18画像



品 目 名：ペチュニア

品 種 名：タイダルウェーブシリーズ シルバー

受 賞 者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

育 成 者：Denis Flaschenriem

育成者権者：Ball Horticultural Co.

HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>

審査講評：ほふく性と立体的な草姿を両立した品種。鉢だけでなく造園用や花壇でも旺盛な株を楽しむことができる。摘芯した後の回復力に優れており、摘芯後約2週間から20日で完全な形の草姿になってくるので、花を長く楽しむために摘芯をぜひお勧めしたい。花色は夏に他の植物ともあわせやすい淡い紫がかった白色で、ひらひらと立ち上がる形でさわやかな印象を受ける。また、紫がかった白色の色味に幅がみられ、その花色の濃淡を楽しむことができ、これまでにないおもしろい素材になり得る。他の自然風の植物とあわせやすい素材として、近年の消費者のニーズに合致し、新しいスタイルのペチュニアとしての提案ができる。これまでになく楽しみ方で、新しい価値観を提案するものであり、ニューバリュー特別賞を受賞した。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子（6月8日撮影）



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子（7月6日撮影）



▲定植後50日の露地花壇・群落植栽の様子（7月28日撮影）

■受賞者コメント（受賞時）

タイダルウェーブは、這い性ペチュニアの中でも従来の枠を超えた花壇パフォーマンスを追及した斬新なシリーズです。平面展開の株姿から、花壇において立体的な演出を実現しました（草丈は約50cm、株の直径は1.5mまで旺盛に育つ）。このようなダイナミックな品種開発の背景には、造園需要の多様性ということが考えられます。平面的な花壇から、草丈のある立体的で、より変化に富んだ花壇造成が実現可能です。生育旺盛な性質を有することで、外観以外にも利点があります。例えば病気への強さはそのひとつで、とくにボトリティスへの耐性には定評があります。また雨後の回復の早さなどにも優位に働いています。さらに、生育旺盛な株は豊かな分枝を生み、それによって花数の多さを実感できるだけでなく、花が幾重にも重なるので、株の中央に（花無しの）空間が現れにくい構造になっています。ただし、その生育旺盛さゆえに、小さなポットによる供給方法では「暴れやすい」と勘違いされることがありますが、定植後のパフォーマンスの見事さを目にすればその「誤解」も解消されることでしょう。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ジャパンデザイン特別賞 同時受賞]

11月1日撮影



品 目 名 : セロシ
品 種 名 : ファイヤーダンス マゼンタ
受 賞 者 : 豊明花き株式会社 (愛知県)
育 成 者 : 松永 一
育成者権者 : 豊明花き株式会社
HP : <http://www.toyoake.or.jp/>
審査講評 :



セロシアの特徴でもある花穂が、綺麗に上がり、柔らかく展開し、これまでの従来品種にはなかった自然風の草姿が特徴な品種。ふわりとして繊細なイメージではあるが、茎はしっかりしている。蕾もたくさんあり花つきも良い。これまで秋のガーデンデザインでは、動きを出すために草物を用いることが多かった。しかし、同品種はセロシアとして珍しく自然風な草姿で新規性があり、ガーデンデザインの新しい素材として期待できる。総合的に優れており、ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞するとともに、自然風な草姿から、日本人の感性に訴えるものとして、ジャパンデザイン特別賞を同時受賞した。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/22撮影)



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/6撮影)



▲定植後40日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/1撮影)

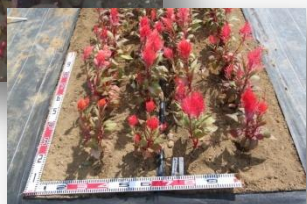
ジャパンデザイン特別賞



11/1画像



9/22画像



品 目 名 : セロシ
品 種 名 : ファイヤーダンス オレンジ
受 賞 者 : 豊明花き株式会社 (愛知県)
育 成 者 : 松永 一
育成者権者 : 豊明花き株式会社
HP : <http://www.toyoake.or.jp/>
審査講評 :



セロシアの特徴でもある花穂が、綺麗に上がり、柔らかく展開し、これまでの従来品種にはなかった自然風の草姿が特徴な品種。ふわりとして繊細なイメージではあるが、茎はしっかりしている。これまで秋のガーデンデザインでは、動きを出すために草物を用いることが多かった。しかし、同品種はセロシアとして珍しく自然風な草姿で新規性があり、ガーデンデザインの新しい素材として期待できる。自然風な草姿から、日本人の感性に訴えるものとして、ジャパンデザイン特別賞を受賞した。

■受賞者コメント (受賞時) 幾度も育種を繰り返すことで、従来の強健さをそのまま残しつつより深みのある花色を作出致しました。強健な性質で、蕾から満開になるまでゆっくり展開するので、花持ちが良い事が特徴です。開花するにつれて、花穂部分が炎の様に燃え上がり、寄せ植えや花壇を振るやかに演出できます。また、寄せ植えの商材としても最適です。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニューバリュー特別賞 同時受賞]



品 目 名：球根ベゴニア
品 種 名：フォーチュン
 ゴールデンウィズレッドバック
受 賞 者：株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
育 成 者：サカタシードヨーロッパ
育成者権者：株式会社 サカタのタネ
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>



審査講評：

最優秀賞を受賞したスカーレット同様に、場所を選ばない優れたパフォーマンスで、「秋の園芸」需要を喚起できる新しい商品群として期待できる品種である。特に同品種は、黄色にピンクが入っており秋らしい色合いで、秋を彩るコンテナや花壇など、いろんな場間での活用が期待できる。

総合的に優れておりベスト・フラワー（優秀賞）を受賞した。更に、秋の園芸需要を喚起し、園芸業界に新しい価値観を与えるものとして、ニューバリュー特別賞を同時受賞した。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子（9月22日撮影）



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（10月6日撮影）



▲定植後40日の露地花壇・群落植栽の様子（11月1日撮影）

■受賞者コメント（受賞時） ゴールドの花弁の裏に赤みが入るユニークな花色です。一つの花房に多くの花がつきます。他の品種より草丈が高く、葉も大きいのが特徴です。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニューバリュー特別賞 同時受賞]



11/1画像



9/22画像



品 目 名：球根ベゴニア
品 種 名：フォーチュン オレンジシェード
受 賞 者：株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
育 成 者：サカタシードヨーロッパ
育成者権者：株式会社 サカタのタネ
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>



審査講評：

最優秀賞を受賞したスカーレット同様に、場所を選ばない優れたパフォーマンスで、「秋の園芸」需要を喚起できる新しい商品群として期待できる品種である。特に同品種は、明るいオレンジ色の花色は、秋らしい色合いで、秋を彩るコンテナや花壇など、いろんな場間での活用が期待できる。

総合的に優れておりベスト・フラワー（優秀賞）を受賞した。更に、秋の園芸需要を喚起し、園芸業界に新しい価値観を与えるものとして、ニューバリュー特別賞を同時受賞した。

■受賞者コメント（受賞時） オレンジ色の花弁で花ごとに色幅があります。フォーチュンシリーズの中で最も草姿がコンパクトです。



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー（優秀賞）」（10点満点の8.0点以上）から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、各部門で1品種選ばれます。

2. ベスト・フラワー（優秀賞）

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種（10点満点の7.0点以上）の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱いやすく、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。（切花部門・鉢物部門のみ）

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1～3の候補となります。



ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。（マークの使用期限はありません）
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。

*この冊子にロゴマークが表示されている品種は、認定登録済みの品種です。

ご存知ですか？このマーク。
いい花の新基準。
ジャパンフラワーセレクション



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

お問い合わせは
ジャパンフラワーセレクション実行協議会 まで
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp